

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	リハビリ発達支援ルームUTキッズ田原本		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 5日		～ 令和8年 1月 26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○従業者評価実施期間	令和7年 12月 1日		～ 令和7年 12月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○訪問先施設評価実施期間	令和8年 1月 5日		～ 令和8年 1月 26日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	5	(回答数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別療育での様子を把握し、こどもの得意なことや苦手なこと、必要な支援や課題を理解した上で訪問へ行かせて頂けること。	保護者より聞き取りを行い、困り感を理解した上で訪問へ行かせて頂けるようにしています。また、訪問先と共通理解できるように話し合いの場を設けています。	引き続き、ご家庭・学校・事業所等の連携を密に図れるように心がけていきます。
2	訪問先で取り入れやすい方法を共有できること。	こどもの特性を把握した上で、こども自身が取り組みやすい支援方法に加え、園や学校の環境に適した方法の提案を行っています。	個別療育が点にならないように、ご家庭や学校に繋がる支援を考えていきます。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所等訪問に関わる職員が限られていること。	職員の経験が浅く、外部支援に少し不安があります。保育所等訪問支援事業についての知識や経験を積んでいるところです。	保育所等訪問支援へ行かせて頂く際に、訪問員に同行し、スキルを向上できるように調整しています。
2			
3			

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 リハビリ発達支援ルームUTキッズ田原本

公表日 2026年 3月 2日

利用児童数

2026年 1月 5日

回収数 5人中2人

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	0	0	0	2		ニーズに答えられるよう、今後も取り組んでいきます。
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	2	0	0	0		相談室を利用し個別での面談を行っています。
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	2	0	0	0		訪問開始前に教育機関側に、事業説明をさせて頂きその後実施させて頂いています。
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	2	0	0	0		保護者、教育機関等に支援内容を共有し頻度、時間についてその都度確認し実施させて頂いています。
適切な 支援 の 提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	1	0	0	1		職員の配置については基準に基づいて療育を行っています。様々な職種のスタッフが訪問にあたり、専門性を活かして情報共有しながら訪問を行っています。
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	2	0	0	0		日々の療育から利用児の特性を把握し、教育現場に置き換えて支援できるよう心掛けています。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	2	0	0	0		保護者との聞き取り、利用児の様子から課題を導き計画書に落としこみ、作成しています。
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	1	0	0	1		利用児、保護者の思いを確認し、必要性に応じて訪問先の意向を確認しながら、作成していきます。
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	1	0	0	1		説明時に詳細をお伝えし、より具体的な支援内容が設定できるように努めています。
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	2	0	0	0		支援計画書に沿った支援を今後も行っていきます。
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	2	0	0	0		訪問先施設に日時等決定に関して連絡を取りながら負担のないよう進めています。
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	2	0	0	0		利用開始前に説明させて頂いています。
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	2	0	0	0		作成後保護者に説明し承認をいただいています。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	1	0	0	1		ペアレントトレーニングという形では行えていませんが、療育後の振り返り時、ご自宅で出来る工夫等をお伝え出来るように努めています。
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	2	0	0	0		訪問後、訪問先での様子や課題に対して伝達し、今後の取り組みについて共通理解できるよう報告していきます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2	0	0	0		訪問前後にお話をする機会を設けています。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	2	0	0	0		訪問報告を通して共感できるよう今後も取り組んでまいります。
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	2	0	0	0		訪問員が相談できる体制、環境を整えられるよう今後も取り組んでいきます。
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	2	0	0	0		報告や相談ができるよう面談室を利用し個別で対応できるよう今後も取り組んでいきます。
20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	2	0	0	0		利用児の特性等専門的分野から伝達し、訪問先で取り組みやすい教材等提示できるよう今後も取り組んでいきます。	

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	2	0	0	0	見学の後先生と話し合いの場を設け支援内容について共通理解できるよう今後も行っていきます。
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	2	0	0	0	訪問後に報告を今後も行っていきます。
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	1	0	0	1	貼り出しやHP、SNSを通して情報提供しています。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	2	0	0	0	教育機関側とも連携し個人情報には十分留意していきます。
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	1	0	0	1	緊急時の対応については、必要に応じて検討していきます。
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	2	0	0	0	ヒヤリハットを通して安全に配慮し今後も取り組んでいきたいと思っています。
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	2	0	0	0	訪問先での関り方を配慮しながら今後も取り組んで行きたいと思っています。
	28	事業所の支援に満足していますか。	2	0	0	0	今後も満足していただけるよう精進してまいります。

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

リハビリ発達支援ルームUTキッズ田原本

公表日

2026年 3月 2日

利用児童数

2026年 1月 5日 回収数 5人中5人

チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1 訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	5	0	0	子どもの見方、発達の理解に繋がる。 集団生活となる場で取り組むには難しいこともあるが、知識として勉強になることも あります。 STからの説明や助言は具体的だった。 認知力の向上等、目指しているものが同じだと感じることができた。 いろいろ教えて頂き、ありがとうございました。	今後も具体的で分かりやすく、園や学校で実践して 頂ける方法等を現場のニーズに合わせてご提案 させて頂きたいと思えます。
2 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	4	1	0	毎回の来訪を楽しみにしています。園内で共有し、幼児理解を深めています。 具体的に教えて頂き、有難いです。 週1等で子どもと接する頻度は少ないが、よく見て下さっていると感じ ました。	引き続き、具体的な支援の提案が出来るように心 がけていきます。 情報を共有しながら子どもの理解を深めていける ように努めていきます。
3 訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	3	2	0	とても話しやすく、専門性が高いので大変勉強になります。 かはな部分に関しては一つ一つ丁寧に教えて下さり、とても助かっています。 学習集団への入りにくさや学習への拒絶感等への対応についても教えて頂けるとあり がたいです。また、子どもと同じ学習をどのくらい繰り返せばよいか等、子どもの力 をどう見していくかについても教えて頂けると嬉しいです。	訪問先の保育や教育を尊重しながら、子どもの課 題の背景や発達への理解を丁寧に伝えて出来るよ うに努めていきます。
4 保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	3	2	0	保護者の考え方や連絡方法等もお聞きでき、ありがたいです。 行事等もあり、継続の難しさはあるが心の負担は減りました。 保護者の希望に学校として寄り添えた。 子どもには持続的で長い目でみた支援が必要だと思ふ。	保育・教育の効果が最大限に発揮できるように訪 問先と共通理解しながら必要な助言が出来るよ うにスキルアップしていきたいと思ふ。
5 事業所からの支援に満足していますか。	4	1	0	園の都合に合わせて頂き、園務に支障もなく、大変ありがたいです。 この事業を使ったことで保護者の満足感が得られたことは良かった。	訪問が園や学校のご負担にならないように貴重な 時間を頂いていることを念頭に、しっかりと必要 な情報を共有し、環境設定や支援の方法をお伝え できるように努めていきます。
其他のご意見	ご意見を踏まえた対応				
専門の目線で見えていただき勉強になっています。 丁寧な対応ありがとうございました。 子どものことについて、丁寧に話をさせていただきありがとうございました。 保護者に、子どもの発達段階や、土台づくりについての説明を、専門家の方からしていただくと ありがたいです。	お忙しい中、アンケートにご協力頂き、ありがとうございます。 また、訪問を受け入れて下さり、ありがとうございました。 子ども一人ひとりがその子らしく過ごせるように、関係機関で連携を図り、サポートできれば 幸いです。引き続き、色々な視点から考え、実践しやすい方法を習得し、満足して頂けるように 心がけていきます。				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		リハビリ発達支援ルームUTキッズ田原本		公表日		2026年 3月 2日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・整備運営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	5		適宜、訪問先の職員と打ち合わせを行いながら、教材を提供しています。	様々な職種の職員と情報交換しながらその子に合った教材を提供できるように努めます。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		訪問件数が増えても、対応できる職員数はいます。	引き続き、対応できるようにしていきます。	
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5		訪問前の保護者への聞き取りや報告・職員間での情報共有を行い、目標設定を行っています。	引き続き、行っていきます。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		定期的に保護者から評価、振り返りできるようにしています。	計画書やアンケートを通して保護者のご意向を確認しながら、必要に応じて業務改善が出来るようにしていきます。	
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		訪問後に職員間での共有を行い、療育での改善に繋げています。	定期的に面談を行い、意見等をきけるようにしていきます。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5	外部評価は行っていません。		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2	3	法人内で研修が開催されています。	社内の研修の質を向上させながら職員の資質の向上を図ります。社外の研修にも積極的に参加できるようにしていきます。	
適切な支援の提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	5		半年に1度保護者から聞き取り・振り返り、職員間で課題などを話し合い計画を作成しています。	引き続き、保護者に聞き取りを行い、職員間で話し合いながら計画書を作成していきます。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		計画書の作成時には訪問員等と共に確認をしています。	引き続き、保護者に聞き取りを行い、職員間で話し合いながら計画書を作成していきます。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	1	4	計画書は保護者の意向を盛り込んでいます。	ご利用児、保護者のご意向を確認し、必要性に応じて訪問先のご意向を確認し、作成していきます。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		パソコンや個人ファイル(紙媒体)で閲覧できるようにしています。	引き続き、必要事項を共有し、計画に沿った支援を行っていきます。	
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		訪問後は報告書を作成し、アセスメントを行っています。	計画書、報告書、モニタリング報告書等を使用し、確認していきます。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	5		ガイドラインに則り、支援目標を設定しています。	引き続き、ガイドラインに則り、設定していきます。	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		パソコンや個人ファイルで閲覧できるようにしています。	引き続き、職員間で共有し、計画に沿って支援を行います。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		職員間で毎回打ち合わせをするようにしています。	訪問報告を確認し、個別療育に繋げていけるように努めていきます。また、今後の支援方針も検討できる時間を作っていきます。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		訪問に行った職員以外のスタッフにも毎回、情報共有するようにしています。	引き続き、気付いた点等を話し合える機会を設けていきます。	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	5		訪問先の支援方法を尊重しながら、助言を行っています。	訪問先の保育、教育を尊重し、理解した上で支援を行っていただけるように努めていきます。	
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	5		毎回訪問後は報告書を作成しています。	引き続き、毎回、報告書の記録を徹底し、検証、改善を行っていきます。		
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		訪問ごとに保護者・訪問先の意向を確認して、見直しを行っています。	半年毎に見直しを行っていきます。		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		管理者が参加しています。	管理者だけでなく必要な人材を厳選し、参画できるようにしていきます。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		必要に応じて連携しています。	必要に応じて連携していきます。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		必要に応じて書面などで情報共有を行っています。	必要に応じて情報共有と相互理解を図っていきます。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	2	3	保育所等訪問に関する研修には参加していません。	職員のスキルアップのために社内外の研修に積極的に参加できるようにしていきます。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	5		管理者が参加しています。	管理者が参加していきたいと思います。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	5		来所時やフィードバック時に子どもの様子を聴き取るようにしています。	訪問員と連携し、全職員が共通理解できるように心がけていきます。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		事業所の掲示板にて掲載しています。また、訪問先でも状況に合わせて提供を行っています。	SNSや連絡アプリ等を使いながら情報提供を行ってきたいと思っています。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		保育所等訪問を実施する際に説明を行っています。運営規定はいつでも閲覧できるようにしております。	利用者負担について、出来る限りわかりやすいようにお伝えできるようにしていきます。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	5		保育所等訪問を実施する前に必要に応じて書面をお渡しすると共に説明を行っています。	保育所等訪問事業の資料及び事業所のパンフレット等をお渡しした上で、必要であれば、訪問の前に直接ご説明に伺えるように体制を整えていきます。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		保育所等訪問前に保護者の方へモニタリングを行っています。	普段より園や学校のご様子、困り事等のお話を聴かせて頂いた上でモニタリングを実施し、こどもや保護者の意向を確認できるようにしていきます。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	5		保育所等訪問を実施する際に説明を行い、同意を得ています。	個別支援計画書等と同様に、説明をさせて頂いた上で同意頂けるように取り組みます。
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	5		療育中の待たれている時やフィードバック時に話をするようにしています。モニタリング時に必要に応じて助言と支援を行っています。	半年に1回のモニタリングを行う中で、必要な助言と支援を行い、安心して子育てをして頂けるようにサポートしていきたいと思っています。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		5	実施していません。	必要に応じて検討していきたいと思っています。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		時間調整を行い、相談室等で話をできるようにしています。	引き続き、迅速に対応できるように努めていきます。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		SNSや連絡アプリ等で発信しています。	引き続き、SNSや連絡アプリで発信していきます。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		個人情報は鍵がついたロッカーで保管しています。	個人情報管理への意識をしっかりと持ち合わせて療育に携わりたいと考えます。
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		視覚提示する等の配慮を行いながら意思疎通を行っています。	こどもに合わせた配慮が行えるようにしていきます。
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	5		必要に応じて見学して頂ける体制や相談等に対応できる体制を整えています。	訪問へ行かせて頂いた職員だけでなく、他の職員も状況を把握し、必要は助言や支援を行えるようにします。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	5		毎回行っています。	引き続き、行っていきたいと考えます。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	5		訪問時の様子とともに訪問先支援との話し合ったことの共有を行っています。	引き続き、共有しながら支援内容を考えていきたいと思っています。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		個人情報は鍵がついたロッカーで保管しています。	引き続き、取扱いに十分留意しながら支援にあたります。

	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	5		必要に応じてどのように支援していくか等の助言を行っています。	引き続き、行っていきます。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		研修を行ったり、実際に避難訓練を実践したりしています。	引き続き、定期的に行っていきます。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		安全管理の研修は管理者で行われており、必要なことは職員にも共有されています。	安全計画を周知し、安全管理を十分に行っていきます。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		なぜ起こったか、どうすれば予防できたか職員内で共有、再発防止を行っています。 今年から他の店舗のヒヤリハットを共有しています。	事故を未然に防ぎ、再発防止を行っていきます。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		年に一度研修を行い、虐待や身体拘束がないよう一人一人の意識を高めています。	引き続き、適切な対応をしていきます。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5		保護者にはインテーク時に身体拘束のことを伝えており、年に一度身体拘束の研修を行っています。 職員間で共有及び確認していますが、計画書には記載していません。	引き続き、身体拘束の研修を行っていきます。